

# 自治会連合会会報

第 6 号



古隅田川堤の桜

## 年間活動報告

定例総会.....平成13年5月17日  
 春のクリーンデー..... 5月27日  
 正副会長会議... 4月11日、6月26日、9月11日、14年1月18日  
 理事会..... 4月20日、9月18日、14年1月24日  
 地区別行政懇談会  
 粕壁地区・内牧地区..... 7月25日  
 武里地区..... 7月26日  
 幸松地区・豊野地区..... 7月27日  
 豊春地区..... 7月28日  
 役員研修会..... 11月6日・7日

各地区体育祭の実施  
 粕壁地区体育祭..... 10月7日  
 幸松地区体育祭..... 10月7日  
 豊春地区体育祭..... 10月7日  
 豊野地区体育祭..... 10月7日  
 武里地区体育祭..... 10月7日  
 武里団地地区体育祭..... 10月7日  
 内牧地区体育祭..... 10月14日  
 研修会..... 14年3月17日  
 講演会 金子 辰雄氏(元NHKアナウンサー)

**【協力事業】** 日赤社員・社協会員の増強への協力  
 赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力

ごみの5分別収集への協力

**【その他】** 各種審議会等への委員選出  
 各種行政機関との連絡調整 等

# 我が街の活動紹介

● 順不同 ●

## コミュニケーション

(共感・共有・共生)の街

梅田三丁目自治会

梅田二区自治会長

蒲生 不二男



**おこたわり** 梅田二区は梅田二丁目と三丁目及びひとつの区になっています。この度は、三丁目自治会の活動を紹介します。

昨年の十一月と十二月に救急車が町内に入る。お父さんを介護していた下さんのお母さんが倒れて、その数日後、退院して三日もたないOさんのおばあちゃんが二人とも退院はできなかった。

このような出来事は、年に二・三回は必ず起こり、その度に町会の役員さん、隣組の皆さんが、何かお役に立つことはありませんか、とかけてくれます。一連の法要を遺族の身になって、静かに、しかも自然に行っている地域です。

国道16号の梅田交差点の一角に一九七八年、新興住宅街として生まれた梅田三丁目自治会、当時は若い人の街でしたが、今では高齢者の多いなごやかな街になっています。



地区体育祭・力をあわせて第1位

自治会の年間活動は、他自治会と変わりありません。総会、公園の除草、盆踊り、地区体育祭への参加、そして夜警と、「この夜警は、自治会結成以来二十四年、自分の生命と財産は自分で守ろう」というスローガンで続けています。隣り近所の人たちが一組になって、声をそろえて「火の用心」と、コミュニケーションの場にもなっています。また、自主防災会や、自治会OBのあじさい会(老人クラブ)も活発に活動しています。

人は誰もが老化し、他界する。だから地域での日頃のふれあいやつきあいが、要介護や不幸などいざという時に、ささえあう力になり、不安や心配を少なくしてくれるのです。

21世紀はボランティア活動が主流になる世紀といわれています。一年交代の各班長さん、三・四年奉仕することになる役員さん、これこそが人と人との交わりをつくるパイプ役としてボランティア活動をしている典型例ではないでしょうか。私は、ボランティア活動を「愛の社会化」といっています。

私がこの地域に住み、長い間、自治会活動をして心を感じたことを列記してみると、自治会活動とは、人と人との交わり、つまり「あいさつ」からすべてがスタートする。

活動は心の助けあいであり、これで良いということはない。無限に、しかも持続・継承されていかなければならない。自由に、自主的に自分達のために、自立して活動するのが自治会活動ではないか。これからも、誰でも大きな声で「あいさつ」が交わされる地域であることを願って。一人ぼっちになっても、さびしさを感じさせない地域・街であることを願って。

## 牛島一番組

地区長

関根 正男



私達の地区牛島一番組は、東に県道松伏線が通り、西に古利根川が流れ、地区のほぼ中央を横切る様に、東武野田線が走っています。戸数は四〇〇軒強で、地区全体が、藤の牛島駅に五分以内と、通勤通学にとっても便利な所です。線路の南側一帯は、通称「ならやま」と呼ばれ、道が狭い上、ならの木熊ざさが多く昼間でも淋しい所でした。今では住宅が立ち並び以前の面影はありませんが、時々懐か



公園清掃

しく思い出されます。また古利根川沿いにある古利根公園は緑も多く、ブランコ、スベリ台等の遊具もあり、子供達の楽しい遊び場となっています。四月になると、桜の花が咲きみだれ、花見客でにぎわい大人にとっても楽しみな所です。

地区役員は、地区長一名、副地区長三名、会計三名、顧問二名、監査一名、組長十七名です。

地区行事としては、女体神社の祭礼(氏子)、初午(氏子)、青年会親睦旅行(会員)、総会、春日部市クリーン作戦に参加、地区体育祭に参加、幸松地区ゴミ拾いに参加、恒例となっている集会所の大掃除(組長以上)、その他毎月十三日集会所にて組長以上の役員が集まり話し合い(今後のこと等)、広報の配布、三ヶ月に一度二十日と日を定め組長が集金した地区費を会計に納入する等があります。尚今年は十二月二十三日に組長以上の役員、青年会、ソフトボールチームの協力を得て、公園の一角に置かせていただいた丸太等の資材(二十年間続けていた夏祭りに使用したものを)撤去いたしました。長い間有難うございました。今後は、親睦旅行ができればいいなと思います。無力な私ではございませんが、役員を始め地区の皆様のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

武里みどり住宅地自治会

自治会長

三田 清次



我がみどり住宅地は、武里駅から県道野田岩槻線を西に約二キロ入った県道の北側に位置し、周囲は田圃に囲まれた閑静な住宅地です。当住宅地は昭和四十八年に郵政互助会と住友土地が共同で開発された住宅地で、敷地面積は一区画六〇坪以上で四五〇区画、東西の二ヶ所の調整池と公園が第一、第二公園の二ヶ所、道路も区画整理地並の道路率を有し整然とした街並で、住宅環境としては極めて良好な環境で、しかも緑の多い住宅地として完成されています。現在の居住者数は四一〇世帯で約四〇区画がなお空地として残されています。

住宅地の近くにはかすかべ温泉があり、住宅地沿いの北側には、埼玉国体にむけての総合体育館が建設中であり、今年の四月一日のオープンを目指しております。県道南側には歩いて五分のところに病床八十七ベッドの救急病院「順生会病院」が昨年十一月一日に才

オープン、西側には大型スーパーアピタ岩槻店が昨年オープンし、とりまく環境も昨今大きく変化してきています。

さて、昨年一年間の自治会の主な行事としては、四月の定期総会をはじめ、八月の学校の夏休み中の「夏祭り納涼の集い」が、子供みこしや屋台に谷原中学校の生徒によるフリーマーケットも出店参加するなど盛大に開かれ、武里地区体育祭には高齢者の「ゆうゆうみどり会」や「子供会」の協力も得て多くの参加者でにぎわいました。秋には、当みどり住宅地出身の落語家「三遊亭吉窓」さんの「ふるさと独演会」を自治会館で盛大に開催、十一月一日にはグラウンドゴルフ大会などを実施してきました。

また、春日部市の出前講座を「介護保険制度」について二回、「都市計画とまちづくり」について



夏祭り

一回実施し、介護保険制度への理解を深めるとともに、十一年後、二十一年後にどんな街に住みたいか、子供達にどんな環境を残したいかなど、みどり住宅地の将来像の検討を会員の皆さんとまず勉強から始めたところです。

その他春日部市総合体育館の建設に当り、隣接地としてのさまざまな問題、家屋の損傷や騒音対策テレビの電波障害などについては「近隣対策委員会」を設置し今日まで対応してきており、オープン後も二三年間は継続して対応していくこととしています。

今後とも会員相互の親睦を深めより住みよい地区としていくために努力して参りたいと考えています。

藤塚と言えは桃の産地、今から四十年前の事、春四月上旬には見事な畑一面にピンク色の花畑が見られました。桜より匂いも良く心からきれいだなと思つた時代も

本田下自治会

自治会長

小川 吉夫



集会所にて

あり、砂質壤土で果樹に適した農業地域でありました。昔の藤塚橋は木造で賃取橋として有名で、その後近代化が進み藤塚橋も立派な橋になり、文化村が出来、一変して市街化農業と変身しました。

私達の本田下地区は藤塚の一帯南端、銚子口とは道一本が境で、東側一帯は近代的な文化村自治会があります。私達の地区も農家十六世帯であつたが、今では百八十世帯と十倍以上に増えました。色々と新しい事をおそわり抽象しながら、昔ながらの農家の仕来り

を競合して楽しく明るく生活しています。待望の集会所も昭和五十七年に完成し、会員一同喜んで利用しています。地区の行事は、毎月十五日夜八時より集会所に於て班長会議及び市広報等の配分その他必要に応じて会議を行つていきます。尚、年中行事は一月には新年祝賀会、四月には総会、十一月ふ

れあい給食会等、又、市行政に基づき古利根川沿いの清掃、春のクレーンデー、地区防災訓練、地区体育祭参加等皆心良く参加してくれ、役員一同本心に喜んでいきます。

尚、旧農家の仕来りとして二月初午祭り、四月十五日祈禱祭、七月十六日「ナエダ」と言つて今年の五穀豊穰、家内安全を祈願する祭りとして行つていきます。十月には用排水堀の草刈り清掃を行つていますが、近隣友愛を目的として長く続けたいと思つていきます。

又、子供会、婦人会、若葉会等、二月月に一回、女性達の親睦会は毎月一回、当番制で楽しんでいきます。特にカラオケ会は毎月二回、第一、第四土曜夜七時より十時頃迄、会員は十五名位で当番制で十年以上楽しんでいきます。只一番困つているのは藤塚橋の渋滞です。新しい橋の工事も行われていますが、一日も早くこれを解消して頂ければ有難いと思つていきます。尚、希望として藤塚橋より南・東側古利根川沿い遊歩道が整備され、静かなそよ風に当り春から秋に楽しめる散歩道が出来たら、我が本田下地区は永久に住みよい、隣人愛のある明るい地区として発展する期待して努力しています。



### 本町町会の歩み

本町町会

地区長

降田 孝



鎮座年月日は不詳ですが、口碑によれば粕壁宿が元和年中（一六一五年）現在より三八七年前、日光街道の宿駅として定められ駅業務が始まった時、上宿仲宿と共に新宿組が組織され元新宿の住民が次・三男を残してこの地に転居し宿場業務の旅籠屋伝馬制度の夫役等に従事するようになりこの地に転居して来た者が現在本町の先祖と思います。

日光街道粕壁宿の中心として、栄光近郷近在の農作物をはじめ商店の町となり、当時の特産品は麦わら帽子で、東北方面に販売しておりましたが時代の変革により今日一軒も製造しておりません。現在は農家の仕事も機械化されて、田植えも二・三日で終わる様になり帽子を使用しなくとも済む様になったからです。今日は春日部特産の羽子板製造業が三軒ございませ。そして昭和二十四年頃に新宿組から町名が本町に改称されまし

た。

昭和五十八年市制三十年と同じ頃に県の指導により市商工会近代協により商店会両側に三メートルの歩道が整備されました。昭和五十八年頃までは本町会は二百二十戸ありましたが、三井不動産の開発により七十軒程が他の町会に移転しロビンソン百貨店が出店しました。現在の戸数は貸店舗を含めて約百六十軒になりました。会員は少ないけれども住民のほとんどが昔からの住民ですので楽しい町会です。

商店会の両側の歩道に県指導により平成九年に電線等地下埋設工事が着工され、平成十二年に街路灯も新しくなり明るい、景観の良い商店会になりました。町会には稲荷神社があり毎年初午祭を押田宮司により町会で行っております。



夏祭り

尚、夏祭りについては昨年御神輿を大修復し立派になり、町会全員参加しております。町会は商店会・青年会・親睦会・自主防災会・老人会・育成会・光栄会等で運営しております。その他市行政への諸行事に積極的に参加しております。以上が主な地区運営の取り組みです。

今後共市当局又は町内の皆様の温かい御指導・御協力を頂きより良い運営をしていきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

### 明るく住みよい街づくりを目指して

花積西自治会

自治会長

小林 永三郎



花積西地区は春日部市の西の端で、岩槻市に隣接し、野田線東岩槻駅の近くに位置しております。当地区は三年前に花積地区より分離した戸数二百戸あまりの新しい自治会です。

昭和四十三年に県企業局によって開発されたこの街も、第一世代



三地区合同 防災訓練

の多くが現役を退き第二世代へと替わりつつあります。そこで、第一世代を中心としたプラチナ会（老人会）の活動を強化し、地域住民の親睦と地域の活性化を図るために、会を市老人会連合に加盟させるべくその準備を進めております。また、この街で育った子供たちに「我が故郷」と誇れるような街づくりを目指し、子供の育成にも努力しておりますが、児童数も少なく、また市の境にあるために公園や児童施設からも遠く、自治会独自で進めていく困難を抱えております。

幸い、豊春地区体育祭では近隣の花積、下蛭田、道口蛭田との合同チームを結成して毎年参加しており、今年も久し振りに総合優勝を果たし、四地区の結末が一段と強まりました。これを機に今年度は花積、道口蛭田との三地区合同

の防災訓練も盛大に実施することができました。今後は、下蛭田を含めた四地域と力を合わせてより良き地域社会づくりを目指して頑張っていきたいと思っております。

その他自治会の主な独自活動としては、自治会の親睦行事（内牧での梨狩り）や六月と十一月のクリンデーに合わせた植木や苗木・草花の交換会を行い、地域住民の交流と親睦を図っております。

今後の主な活動目標の一つとしては、次第に進みつつある地域の高齢化に対応すべく、プラチナ会との共同による「触れ合いサロン」の設置とその運営です。次いで、地域社会を受け継いで行く子供たちの健全なる育成を目指し、子供たちが故郷と誇れるような街づくりを進めることです。その一つとして郷土認識を高めるために、市の史跡「花積貝塚」の史跡公園化とその整備を市に働きかけて行くことと、花積や下蛭田、道口蛭田に伝わる伝統行事にも子供たちが一緒に参加できるよう地域の連携を強めていきたいと考えております。

伝統も少なく歴史も浅い自治会ですが、これからも明るく住みよい街づくりを目指して活動を続けていきたいと思っております。





夏祭り

備後西川自治会は、東に古利根川、国道四号、西は一ノ割駅に近く、立地条件に恵まれており、近年は、マンション建設等で、自治会員も増えております。地域の中心地には、香取神社、西川会館があります。由来から神社西側に「西川」と伝う川が流れていたと歴史の記録にあり、川の名前を自治会名に称し、備後西川自治会と名付けました。香取神社の境内に、いちよりの巨木が昔を偲ばせています。春の祭典、秋の感謝祭等の



備後西川自治会  
自治会長  
秋山 一夫

祭事が行われ、また、十二月のおたき上げ元旦行事には、地域友の会、氏子役員さんにより盛大に新年を迎え、参拝者の方に変喜はれております。私達の自治会は、五百三十世帯、主な事業を紹介いたします。年の始め一月には役員一同、地元議員さんを交えて新年の集いを行い、自治会全体の親睦を深め行事に対し協力をお願いいたします。また月に一度定例会を実施、転入転出者会費(一ヶ月三百円)を集金し自治会経費としております。役員構成は役員二年、班長一年を期限として推せんの方法で決める各役員分担をお願いしております。四月には自治会総会を行い一年間の事業計画などを決議し承認を済ませます。五月春のクリーンデー、地域内の清掃協力を行い、特に会員さんへごみの理解をお願いして地域住民でいつもきれいな街づくりに心がけています。七月の夏祭りに対し地域の多数の参加者をお願いしています。夏祭りはみこしのパレードを行い、午前の部は子供みこし山車のパレードです。夏の日ざしの暑い中、幼児子供達の汗をかきながらの楽しそうな姿が目に残ります。午後の部、五時出発の大人みこしのパレードでは、商店会、各かつぎ会、銀行員さんの協力を頂いております。みこし本体が大きく、重量がありますので、五十人位かつぐ人を必要とし

ています。大きなかけ声と気持ち一つにパレードし、みこし終了時に多数の見物人とかつぐ人の、大きな集まりが出来、祭りを通して地域住民各自の心の絆が持たされた様子を感じます。



豊野町自治会  
自治会長  
岡村 久人

十月に入って地区体育祭が実施されますが、順位をあまり考えず、楽しく競技に参加してコミュニケーションを深めています。十一月自主防災訓練、防犯について地域住民に呼びかけ消防訓練、火災通報、防犯では、特にひつたくり事件が多く、注意と防止に対し講演をいただいた春日部警察署の指導を参考に各自心がけております。十二月は特に注意を要し、地域の皆さんに呼びかけています。「備後西川自治会」で皆が明るく、楽しく、生活できる事を希望し、今後とも皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

私達の豊野町自治会を紹介しま



もちつき大会

春日部市の南東部に区画整理された市街化区域、工業団地が豊野町です。昭和六十三年五月に自治会が出来て十四年と新しい自治会であり、年代層も若く、現在では約三百五十世帯と多くなり、今後も増え続けるところです。町内の行事は、夏の納涼祭、十二月のチャリティーふれあい広場が二大行事となっております。納涼祭では、町内で工夫したヤグラ作りから始まり、子供神輿による町内巡りと、子供から大人まで皆で力を合わせて、活動しています。十二月のふれあい広場では、自治会で餅をつき、販売し、カラオケ大会、ビンゴゲーム、各種町内団体(ソフトボール、子供会、空手、グリーンリブス、フレッシュ会)の模擬店、他にも銚子口豊野町商工振興会、銚子口青年会、農家の新鮮野菜の販売など、他地区の参加もあり、またフリーマーケット等、たくさんの店が並び盛大

に行っています。その他の行事として、十月の豊野地区体育祭では、二年前までは銚子口地区と合同で参加させていたりましたが、今では、豊野町自治会として、単独で参加しています。町内の多くの方の参加により、素晴らしい団結力をもって参加出来る様になり、感激しています。町内で活発な団体があります。百人を超える子供会、ソフトボールチーム(フィドルリッチーズ(男)、シャイニーズ女)、豊野ソフト連盟でも活躍しています。最近出来たフレッシュ会は、中高年代の人を中心に、町内の親睦を目的とした団体であり、現在約四十名のメンバーによって、二月には日帰り旅行など楽しく活動しています。自治会でも、この様な団体を育て、町内のコミュニケーション推進に力を入れて行きたいと思っております。また、自治会では、現在の自治会館を建て直すために、毎月第四日曜日に資源回収を行い設立基金にあてています。防犯においては、夏休み期間中、町内パトロールを週一回行い、十二月後半から三月初旬まで、火の用心、巡回を町内全員で行っています。今後も全員参加で、明るい街づくりに役員一同頑張っていきます。

# 我が町 松河町

## 松河町町会

地区長

高橋 弘道



私達の松河町地区は、古利根川に架かる新町橋、八丁目新町を通り小淵に入る最初の町内であります。小淵一番地からはじまり十九番地までを右側に、県道惣新田春日部線を挟んで左側は古利根川に接する地域になっております。松河町の旧名は小淵新町と称しており、町内に残されている小物類には、この町名が書かれているものがあります。これらの物は、現在殆ど使用されることはありませんが数十年前までは町内の会合の時に使われていたようです。戦前は活気ある街並で、八丁目新町と共に近郷から訪れる人々で賑わったとのこと。古利根川の川沿いも散策の道筋にもなっており、四季の移り変わりを感じ取られる处でもあります。

さて町内活動の一端をご紹介します。一昨年から三年間、小淵の鎮守様、鷺神社の当番を担当致しております。これは、小淵の

各地区が交替で担当することになっており次回は数十年後となる大切な行事であります。毎月の境内掃除をはじめとして、十月の秋の祭礼、大晦日から三日までの接待があります。

鷺神社については、本殿、拜殿とも中央で仕切られ、向かって左側が小淵の鷺神社、右側が杉戸町本郷の鷺神社となっている「一宮二社方式」とでも呼べるような珍しい形式の神社です。境内も中央の参道を境に分かれております。昨年は、境内の鳥居の老朽化に伴い、鳥居建立事業がありました。小淵地区皆様のご寄進により立派な鳥居が完成いたしました。お陰様にて今年の元旦には参詣の方々で大変な賑わいでありました。

鳥居の解体時には、両方の柱から建立の年代が発見されました。「文久二年」「八月四日建之」また小淵地区世話人、本郷村世話人の名前も記入されておりました。柱



鷺神社にて

の一部は現在拜殿内に保管してあります。

鷺神社の祭礼、鳥居の建立によつて、自分達の身近に古くからの鎮守の社があり、先人達の知恵また豊かな自然を見失うことなく後世の人々に引継ぐことの大切さを考えさせられました。

神社当番の無事を願い、町内の活動の輪をひろげていきたいと思っております。

今後皆様方のご協力の程よりしくお願い申し上げます。

# 住んで良かった

## 私達の街池の端

### 池の端自治会

自治会長

澤田 富二男



わたし達が住む「大枝池の端」は、東・南・北が越谷市に隣接し、西に国道4号線と「会之堀川」をひかえた地域で、春日部市の南端に位置しております。開発前は、数軒の農家が点在する田園地帯でありました。ここは、北は北海道から南は沖縄の広範囲の出身の人達で構成されていて、主として東



夏祭り

京に職場をもつ、いわゆる「埼玉都民」が多かったと思えます。自治会を立ち上げたのはいつの頃かはつきりませんが、池の端自治会としての発足から三十年余が過ぎております。

その間にあって、習慣・考え方など価値観の違うなかで、齟齬もありませんが、子供達の「故郷づくり」をめざしてがんばってまいりました。自治会活動の行事として代表されるものとして八月に行われる「夏まつり」では、役員・班

長・協力団体の皆さんが総出で会場の草取り・テント張り・飾り付けなどに汗を流す、平行して子供達は太鼓、ご婦人達は踊りの練習を、協力団体でもある神輿愛好会は神輿の整備、商店会・ソフトクラブは売店の準備などを分担し、協力しながら本番にそなえます。こうした作業が一体となつてのイベントの成功が自治会運営を円滑

にしているのではないのでしょうか。今年は三十周年をひかえ節目としての記念行事にしたいと検討をはじめるところです。その他、「芋掘会」の五月から十月にかけてのさつまいも苗の植えつけ・草取り・収穫に至る一連の作業は、子供達はじめ大人達にも新鮮な刺激となつて好評です。

ボーリング会、フラワーアレンジメントなどの文化教室、月2回実施の資源回収は自治会の数少ない貴重な収入源でもあります。その他に、年末夜警・防災訓練などを年一回実施しております。

昔の青年の集まりでもある「池の端クラブ」と老いも若きもどろろラウンドゴルフの「ラビット会」などが、それぞれ定期的に活動をしております。

ここで生まれ育つた子供達の「故郷」として、そして「里がえり」の場所として、「住んでよかった私達の街池の端」をめざして行きたいと念願しております。

夏まつりをはじめとする諸行事の継続化など、長年の活動が地域住民の連帯感となつての相乗効果を生んで将来につながって行くものと確信しています。



立沼町会

町会長 並木素生



我が立沼町会は昭和五十二年四月、内谷町会より分離独立し、昨年二十五周年を迎えました。町会の範囲は、北は中央七丁目、中に中央八丁目を挟んで南は大沼四丁目的一部（郵政省グラウンドの北側から東は東界タクシード前まで）に及びます。世帯数は昨年四月現在で四百二十二となっており中堅どころの町会といえます。



入学のお祝い

町会発足当時は周囲に田園が広がるのどかな一帯で、住宅地としては開発途上にあり家屋数もまば

ら、初年度の加入数は僅か九十六世帯と誠に寂しい限りでした。集会所は中央八丁目の農家の空地を借用して、中古のプレハブ式建屋を急ぎ建設したものでしたが、細々とした中にも漸く一人前になったという自負心を抱いてのスタートとなりました。

現在の集会所は、内谷区画整理記念館の並びに位置しておりますが、建設以来十九年経過のため、老朽化が目立ち、平成十五年度を目標に集会所の建て替えを検討中であります。

年間の行事は多岐多様にわたっており、四月は小学校入学生と父兄を中央町第二公園の桜を背景に記念写真撮影（写真は記念として配布）、また中学校進学学生には記念品の進呈を行い、七月は市の夏祭り（子供御輿西口パレード）への参加と、松の丸太材使用の櫓の組み立て等、手作りを基本とした盆踊り大会の開催、八月は早朝の夏休みラジオ体操、九月は敬老祝の記念品進呈、十月は粕壁地区体育祭への参加と日帰り旅行、十一月は餅つき大会と自主防災訓練、一月は成人祝の記念品進呈、その他春秋の町内清掃、公園の除草、会之堀川堤の花の栽培等があります。

町会役員は執行部十一人、組長副組長三十九人で構成され、組長副組長は総務部、環境部、体育部、育成部の四部門に分かれ、各部の責任のもとに活動しております。



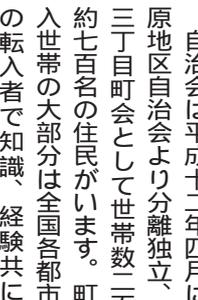
町会長 萩原清

谷原三丁目町会

当地区は発展する春日部市の中心の住宅地として年々変貌を遂げ人口も増加傾向にあります。近年は一戸建てよりマンションが目立ち、マンション住民の町会への入会者が増えず、逆に脱退により減少し、町会予算を圧迫しているのが現状です。これからはいかに加入世帯数の増加を図るかが課題であると考えます。

活力のある、住民のための、開かれた町会を目指して、今後頑張りたいと考えておりますので、ご支援ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

昭和二十九年に春日部市が誕生し春日部駅西側の新しい都市づくりが始まりました。昭和四十五年十月の建設途上の谷原三丁目地区は水田の中の六世帯のみでした。現在谷原三丁目自は西口の中心ふじ通りとこれに直交のユリノキ通り、ハクレン通りと市の東西を結ぶ陸



もちつき大会

橋通りに囲まれた地域で面積約十三万平方メートルです。地域内には災害時の一次避難場所の谷原第四公園が子供達の遊び場と町会行事の中心です。

また、信用金庫、専門学校、レストラン、スーパーマーケット、各専門店、ガソリンスタンド等があり典型的な商業、住宅地です。

自治会は平成十二年四月に上谷原地区自治会より分離独立、谷原三丁目町会として世帯数二百十、約七百名の住民がいます。町会加入世帯の大部分は全国各都市からの転入者で知識、経験共に多士済々の住民ですが東京、他市勤務者が多く、日頃話し合いの機会が少ないのが残念です。ふじ通りでは毎年五月三日に市内各団体の協力で藤まつりが行われ、子供鼓笛隊、祝い太鼓、流し踊り、各団体のパレード等と歩道を埋める出店で大層な賑わいとなります。町会

職業、勤務地、現代感覚から居住地域に対する帰属意識が薄い都会的気質がありますが、高齢化の加速と共に老後を迎える世帯が増加し行政と自治会の役割、関係は一層密接が必要になります。多士済々の方々への参画を促し、その知識経験を活用し自由で活発な生き生きとした自治会活動により住み良い町づくりを願っております。

皆様の御指導をお願いします。

行事は春のクリーンデーに始まり地域内公道と谷原第四公園の清掃を行います。親子の参加、特に父親の参加が増え、清掃後のお茶会ではお互いを知り合い親睦と理解を深めることができ心強く思います。昨年の豊春地区体育祭に上谷原チーム（谷原中央、谷原一、二、三丁目、大沼ユリノキの各自治会）が綱引きと児童から壮年男女による七地区対抗リレーに優勝しチームの団結と他自治会の人々との交流も深まりました。また防災訓練もちつき大会、敬老ひなまつり等も多くの参加を得ています。八木崎小学校東側道路沿いの生垣の改修作業には年末の日曜日寒風の中、夕暮れまで、組長、役員協力完成しました。



## 武里地区の紹介

武里地区自治会連合会の会長に就任以来早や2年を過ぎようとして居ります。自治会長さんを始め関係各位のご指導とご協力に心から感謝を申し上げます。私達の武里地区は春日部市の最も南に位置し、ほぼ中央に東武鉄道の伊勢崎線が通り、東部には4号国道が南北に通って居り極めて交通の便利な所です。約四十年前には東京都の人口急増により、住宅公団のマンモス団地・武里団地が建設され約5,500戸の市街が出来ました。更にその後の昭和45年に新都市計画法が施行され市街化区域には爆発的に住宅が建設され、人口は急増しました。小学校7校、中学校3校、公民館も3館建設され現在に至って居ります。昭和30年頃は600戸位の小さな村落が今では自治会員だけでも15,000有余という非常に大きな市街に変化しました。しかし数年前から経済のバブルもはじけ人口の増加も止まり、自治会の分割も一段落のようです。

またこの武里地区におきましては、「市道武里内牧線」の整備が進められています。地域の皆様の生活への、貢献度の高い路線となることが期待されています。さらに、健康維持・体力向上を目指すスポーツ施設「総合体育館」の利用が本年4月より開始されます。

自治会活動の原点は地域の融和と親睦を図ることであると思えます。その為に連合会としては地区体育祭を公民館と共催で毎年行い、各自治会としてもそれぞれ夏祭りや餅つき大会等を行っています。各会長さんを始め役員さんは大変な努力をされています。そして明るいきれいな住みよい街づくりをしようと頑張っています。連合会としても各自治会の横の連絡を密にして、且つ又、行政の指導のもと武里地区の発展に寄与しようと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

武里地区自治会連合会 会長 上原光孝

### 《武里地区自治会連合会》(37組織、順不同)

|           |             |
|-----------|-------------|
| 備後下自治会    | 一ノ割根耕地地区    |
| 備後東6丁目地区  | 一ノ割新田大沼地区   |
| 正善第一地区    | 薄谷地区        |
| 正善第二地区    | 中野地区自治会     |
| 備後田島自治会   | 大場白百合自治会    |
| 備後上地区     | 武里みどり住宅地自治会 |
| 備後西川自治会   | 増田新田地区自治会   |
| 備後宮田地区会   | 大場自治会       |
| 備後同友自治会   | 大場谷中自治会     |
| 備後朝日ヶ丘自治会 | 大場東口自治会     |
| 備後須賀第一自治会 | 大畑自治会       |
| 備後須賀第二町会  | 大枝自治会       |
| 備後須賀第三自治会 | 大枝南自治会      |
| 備後須賀第四町会  | シティプラザ自治会   |
| 備後須賀第五町会  | 大枝池ノ端自治会    |
| 東急武里自治会   | 大枝東自治会      |
| 一ノ割本田第一地区 | 千間一丁目自治会    |
| 一ノ割本田第二地区 | 団地5街区地区     |
| 一ノ割本田第三地区 |             |

### 役員視察 研修会報告

去る平成十三年十一月六日、東京都江戸川区「なぎさニュータウン」なぎさ助け合いの会」を視察研修いたしました。当会は住民の高齢化が進む中、お互いに助け合い、支え合う活動がスタートし、安心して老後を過ごせる、また出産や子育てができる地域社会をつくっています。当連合会活動においても、おおいに参考にしたいと思えます。



役員研修会

### 【なぎさ助け合いの会 (虹の会)の活動内容】

平成十一年七月に設立。登録会員数三百二十五人。

【会 員】なぎさニュータウン自治会の会員であること

【利用会員】手伝ってほしい人

【活動会員】手伝いたい人

【協賛会員】今は手伝いもいらな

し、活動もできないが趣旨に賛同する人

### 編集後記

様々な事件が起こる近年、住民が力をあわせて、安心して暮らせる地域社会を築けるよう、自治会運営に取り組んでいきたいと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 飯塚 一夫
- 副会長 齋藤 茂
- 副会長 上野 照信
- 副会長 板橋 光二
- 副会長 上原 光孝

- 発行日 平成十四年三月一日
- 発行者 春日部市自治会連合会
- 事務局 春日部市役所自治振興課内
- 〇四八七三六二一一

一時的な保育、病院への送迎、食事の用意等、利用会員が手伝ってもらった際に、有料のチケットで支払い、活動会員が事務局でチケットを換金する。料金は三十分三百円。利用会員が一時間分(六百元)のチケットを購入し活動会員にチケットで支払う。それを換金する際、事務局は手数料の百円を引いた五百円を活動会員に支払う。

その他会報の発行、喫茶室、食事会、映画会、パソコン教室等、様々な交流活動を実施している。